

2013 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日の間に、川崎医科大学附属病院 6F 集中治療室で
持続緩徐式腎代替療法（CRRT）治療を受けられた方へ

— 「持続緩徐式腎代替療法(CRRT)における血液回路内凝血と回路内圧の関連性の検討」

へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学附属病院 ME センター	臨床工学技士	白髪裕二郎
研究分担者	川崎医療福祉大学医療技術学部臨床工学科	教授	望月精一
	川崎医療福祉大学医療技術学部臨床工学科	特任教授	小笠原康夫
	川崎医療福祉大学医療技術学部臨床工学科	准教授	小野淳一
	川崎医科大学附属病院 ME センター	主任臨床工学技士	佐々木慎理
	川崎医科大学附属病院 ME センター	主任臨床工学技士	吉川史華

1. 研究の概要

持続緩徐式腎代替療法(CRRT)とは、集中治療室で主に腎臓の機能が低下した患者さんに 24 時間行われる治療です(集中治療室で行われた血液透析と同義)。この治療の利点は血圧などの循環に与える影響が少なく治療ができます。しかし、欠点として長時間の治療により CRRT 回路内で凝血することで、治療が中断されて治療効果が低下します。

この研究において、CRRT 装置の回路内圧変化と回路内凝血の関連性を調査することで、適切なタイミングで CRRT 回路の交換ができるようになり、治療の中断を未然に防ぐことが期待できます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2013 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日に川崎医科大学附属病院集中治療室において CRRT 治療を行った症例を対象としています。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2024 年 3 月 31 日

3) 研究方法

電子カルテに過去に保存している急性血液浄化施行記録より、CRRT 治療が中断・終了した理由や治療中の CRRT 装置の回路内圧の数値を調査します。そして、CRRT が緊急的に中断した割合を算出するとともに、回路内圧力がどのように変化を起こしたか調べます。また、回路内圧力変化の調査には、急性血液浄化施行記録だけでなく、CRRT 装置に保存されている圧力情報も活用して分析を行います。

4) 使用する情報の種類

情報：電子カルテ上の急性血液浄化施行記録に記載されている情報(CRRT 施行時間、回収理由、抗凝固

剤、回路凝血部位、バスキュラーアクセス留置部位) 等

5) 外部への情報の提供

この研究では、川崎医療福祉大学と共同研究(情報の解析のみ)を行うため、個人が特定できない形で川崎医療福祉大学への情報提供のみ行います。

6) 情報の保存

この研究で使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から 5 年間、川崎医科大学附属病院 ME センター内で保存させていただきます。電子情報はパスワード等で制御された持ち運びが不可能なコンピュータに保存します。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は個人が特定できる情報は使用せず、学会や論文で発表しますので、ご了承ください。

この研究について、ご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方に同意いただけない場合には研究対象としませんので、2023 年 12 月 31 日までに下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 ME センター

氏名：白髪裕二郎(しらがゆうじろう)

電話：086-462-1111 内線 29333 (平日：8 時 30 分～17 時 00 分)

ファックス：086-4462-7897

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

利益相反関係とは、研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態をいいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。